

桜中だより

長崎市立
桜馬場中学校

校長 大塚 潤

夢の実現への近道

明後日 7月7日は七夕です。織り姫と彦星が1年に一度だけ会うというお話を聞いたことがあるでしょう。また、願い事を書いて笹竹に飾る風習も広く親しまれていまして、きつとみなさんも、願いを笹竹につけた

ことがあると思います。ところで皆さんは、「流れ星に3回願いをかければ願いが叶う」という話を聞いたことがありませんか。これにはこんな言い伝えがあります。それは「空に神様がいて、神様は時々下界の様子を

確認するために、こちらをそつとのぞくときに、漏れる光が流れ星。だから、その時に願い事を口にすれば、その声はきつと神様に届き、願い事が叶う」というのです。この「流れ星伝説」にちなんで、私の考える「願い

が叶う方法」を記します。

はじめに「思うは招く」という言葉を紹介いたします。2・3年生は聞いたことがあると思います。「下町ロケット」の植松さんが講演会で話しておられた言葉です。

夢を実現するためには、願いを強く持ち続けることが大切だということを表現した言葉です。流れ星を見つけたその一瞬に、願う言葉が言えるくらい強く心に思い続けるのです。その願いは「○○になりたい」等、具体的な方がいいです。思い続けることが、日々努力していく姿勢になり夢の実現につながります。時には「○○したい」という願望を、更に一步踏み出して、「絶対○○する」「絶対○○になる」という断定調で表現してみるのもいいでしょう。「思うは招く」とは、そういう言葉です。

2つ目は、「願いを言葉にして口にすること」です。「叶う」という感じは、「口」に「十」と書きます。言葉にして口に出すと、いいことが起

こります。例えば、普段からやりたいことを口にするのを習慣にしていると、周りの人も聞いてくれますが、誰よりも他ならぬ自分自身がその言葉を繰り返し耳にします。するとどうなるか。自分自身で「私はこれをやりたいんだ」と自分の夢を強く意識するようになります。これが夢の実現の近道なのです。

さあ、暑い夏がやってきました。この夏は、言葉

明日6日(土)
PTA除草作業
現在、保護者39名の参加をいただいています。ぜひ、子どもと一緒に汗を流しましょう。当日参加OKですよ。

明後日は、彗星に向かって、自分の大切な夢を口に出して話かけてみてくださいね。

夏休みの本校生徒の活躍

- ◆7月20日(土) 伊良林校区まつり
和太鼓部 14:50～
美術部 14:30～15:30 (イラストお絵かき教室)
生徒会 15:45～16:45 (平和折り鶴またはペットボトルキャップ集め スライムづくり)
特別支援学級生徒及びPTA 14:30～16:45
バザー&飲み物の販売
己書(支援学級の生徒の作品)の販売
放送係
- ◆7月25日(木) 「社会を明るくする運動」
弁論大会(場所:長崎新聞アストピア)に本校代表で、
さん(3年4組)が出場します。
題は『少年犯罪をなくすために私達ができること』(仮題)
- ◆8月3日(土)～7日(水) いわき市派遣事業
さん(3-4) さん(3-1)
- ◆8月4日(日) オーケストラ部定期演奏会
(14:00～市民会館)
- ◆8月23日(金) 24日(土) 新大工夏祭り 和太鼓部演奏

地域に愛されている、地域と共にある桜中生って素敵ですね。
素敵な経験(学び)をしてきてください。



2人の素晴らしい進行で生徒総会も大成功

教育週間で学んだこと

◆SNS講話から

○SNSはみんなとの仲を深める部場だと思っていたけど、実際何かトラブルがあったら危険な場だと感じた。そのためにはちゃんと性別が分かっていない人には自分の写真を送らないことが大切だと感じた。どれだけ「自分は大丈夫でしょ」と思っている、トラブルになりやすくなるので、きちんとSNSとの関わり方を大切にしようと思った。今からの時期はインスタとかを入れる人が増えるので危険な時期。インスタは個人情報が入りやすいと思うので、気をつけたい。時々、写真に写っている目で特定する人もいると聞いてすごく怖いところだと思った。

1年3組

○川口さんのお話を聞いて、インターネットは楽しくて追いついてしまいがちだけど、スマホひとつで犯罪に巻き込まれたり、知らない人から悪質なメールが届いたり、使い方を間違えると、大



届け 平和への願い 折り鶴頑張っている

変なことになってしまおうと言ったことがあった。そしてそれらを防ぐためには、フィルタリングをかけた、スマホを触る時間を決めたりと、ルールを決めて行うようにしたいと思った。そして世界でインターネットを利用している数にもびっくりしたし、闇バイトなど怖い内容の話もあり、自分がそうならないようにするために、これからスマホの使い方を再確認して安全にSNSの向き合っていきたいと思った。

3年3組

◆校長講話から

○「長崎っ子の心を見つ

める教育週間」ができたことに驚きました。自分達とあまり変わらない年の子がいのちを奪われたり、奪たりするなんて決まてくなくないとか分かってるのに・・・なぜするんだろ。その子どもの親や親戚はどう思うのだろう。こんなことを考えると他人なのに気持ちが悪く複雑になって心が痛めつけられます。国の法律でもあるのにいつまで経ってもなくならない「いじめ」、何もかも謎になります。私は校長先生の話を聞いて、いじめない、いじめられない、もし周りの人がいじめたら「やめて」「やる気が起きない」といえる人になりたい。と思いましたが、「いじめ」がわからないように、学校・学年・学級でいい雰囲気作りができていたらと思えます。それからこの教育週間の時だけ考えればいい問題ではないので、このような事件があったと言ったことを頭に入れて生活していきたいです。

2年4組

○校長先生の話を聞いて思ったこと、考えたことが2つあります。1つ目

は、いじめが絶対にダメだと言ったことです。私は前からいじめは絶対にダメだと思っていたし、知っていました。今回の話でこの気持ちがより強くなりました。なぜなら、いじめが原因で多くの人が命を自ら絶つたり、殺されてしまったら、多くの（子供たち）が短い人生で終わってしまっていたからです。2つ目は、家族や友達、先生（学校やダンス）を大切に、一日を稚拙に生きようと思えました。人間は必ず死にます。いつ病にかかるともわかりません。だから、1日1日を大切に、この幸せを噛みしめ、生きていこうと思えました。日本中、今、いじめが起きている。ここ桜中でもいじめが起きているかもしれない。私はなぜいじめがなくならないのか不思議でなりません。私が

夏の交通安全週間

7月13日(土)～7月19日(金)

◆今回の週間の重点◆

「子どもを始めとする歩行者の安全の確保」
「全ての座席のシートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底」
「飲酒運転の根絶」

いじめをなくすることはできないけれど、私にできることはたくさんあります。例えば、みんなと仲良くする、誰にでも平等に接する、悪いところではなく、いいところを見つける、このようなことをしていじめのない桜中日本にしていきたいです。

2年4組

◆家族・交流証言 佐藤直子さんの講話から

○私は池田さんの紙芝居を聴いて、家族を1人でも失ったらすごく悲しいと思うけど、池田さんは12歳と言う若さで、いじめを失って、弱っていた両親を支えるために、おにぎりをつくったり、肉体労働をしたりの日々はとてつろかっただろうなと思った。浦上川にたくさん死体が浮かんでいたという話を想像す

るだけですごく怖かった。池田さんが始められた花壇に花を植えるという活動も今では佐藤さんを始めとしたたくさんの人で行っているのを聞いて、79年前の出来事をこうして形で受け継いでいるのがすごいなと思ったし、感動した。

私は、今平和活動をしていて吉田勝二さんの紙芝居の朗読の練習をしています。今日の講話で知れたことや感じたことを踏まえて、当時の人達の思いを受け継いでいけたらいいなと思った。また、長崎の人だけではなく、原爆のことをあまり知らない人へも伝えていって、世界中の人々が戦争は絶対にしてはいけないことだと思ってくれれば、いいなと思った。

佐藤さんの活動、応援しています。
3年4組